

社会科（歴史的分野） 学習指導案

1 単元名 「ヨーロッパ人との出会いと全国統一」

2 単元について

(1)単元観

本単元は、学習指導要領の内容（3）のア『ヨーロッパ人の来航の背景・影響』、イ『織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係』の理解をねらいとして位置づけられるものである。ここで取り扱う時代は、16世紀中頃から末までであり、各地に戦国大名が割拠していた戦国の世に、ヨーロッパから鉄砲やキリスト教などが日本に伝えられ、我が国の社会に変化がもたらされる。さらに、織田・豊臣による統一事業のなかで、仏教勢力への圧迫や関所の撤廃などによって中世に大きな力を持った勢力が力を失ったり、検地・刀狩などにより近世社会の枠組みがつくられていった。中世までとは異なる新しい社会が生まれてくるのである。

これからの国際社会において、生徒たちが国際的な広い視野に立って物事を考えることのできる資質や能力を身に付けることは重要なことである。そこで、「我が国の歴史を、世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、国民としての自覚をそだてる。」ことが大切な意味をもつ。この単元では、まさにこれらを考えさせ、身につけられるのに適切な箇所であると考えられる。また、多様に変化するこれからの社会に対して、生徒が主体的に対応できる資質や能力や自ら学ぶ意欲を育てることも重要なことである。

ここでは、大航海時代のヨーロッパ人が我が国へ来航した背景とその影響について扱うとともに、時代の転換期ともいべき戦国の混乱から織豊政権の成立にいたる我が国の動きについて取り上げる。そして、小学校との関連を図りながら、指導内容を精選し、歴史学習をさらに深まりのあるものにしたいと考えている。

(2)生徒観

本学級の生徒は、発言も活発で、積極的に授業に取り組んでいる。1学期にとったレディネス調査（アンケート）では、社会科が好きな生徒が全体の62%、社会科が得意と答えた生徒は53%にも達し、それが現在の授業にも現れている。さらに、小学校の学習が、生徒自ら主体的に活動できる調べ学習・発表学習を多く取り入れ、生徒が自分で発見する喜び、わかる喜びを数多く体験していたことがうかがえる。しかし反面、「社会は覚えることが多い」、「内容が難しくついていけない」と思っている生徒も3割程いるのも事実である。毎日、彼等に何とかして興味・関心を持たせ、社会科アレルギーをやっつける「自信」という薬を植えつけている。全体的に大変楽しいクラスであり、雰囲気は明るく、お互いを思いやる心が育っている。

(3)指導観

戦国時代～安土・桃山時代は、生徒たちにとって大変なじみのある時代である。小学校の既習の学習で、フランシスコ・ザビエル、織田信長、豊臣秀吉などと、人物像・業績など幅広く、深い知識を持っている生徒も多い。レディネス調査（アンケート）でも、この時代の学習が好きで、楽しみにしている者が約30%いた。反面、人物には詳しいが、歴史的事象の因果関係、とりわけ、世界との関わりについては、理解が不十分である。さらに、社会科の特性である学習内容の多さにより歴史学習に対しての興味を失いつつある生徒もいる。

今年度、意図的に課題解決学習の中で、調べ学習、レポート作成、ロールプレイ、プレゼンテーションなど、様々な生徒の活動を積極的に取り入れている。社会科に対する意欲、関心が高まり「社会はおもしろいものだ」また、そのことで生徒の中に「次は を詳しく調べてみたい」など、徐々に学習に対する積極性がさらに芽生えてきた。また、授業を受けるにあたり、予習、復習を常に習慣づ

けさせノートをしっかりで作らている。日々の積み重ねを大切にすることで、基礎学力の定着をはかっている。毎時間の授業の中で「わかる喜び」が感じられるよう努めている。

本単元でも、歴史的事象の因果関係、世界との関わりを理解させながら、歴史学習の面白さを体感出来るような展開をつくっている。学習後に充実感が味わえるよう、指導に工夫を凝らしたものになっている。さらなる学びの場となると考える。

3 単元の指導計画

(1)指導目標

ヨーロッパ人の来航の背景を、大航海時代を中心に理解させ、鉄砲とキリスト教の伝来が日本に与えた影響を考えさせる。

織田信長と豊臣秀吉による統一事業を理解させ、新しく生み出された近世社会の特色を考えさせる。

東南アジアとの貿易、キリスト教への対応、朝鮮侵略を通して、織田・豊臣の時期の対外関係のあらましを理解させる。

学習の課題にむけて、様々な手段を使って、適切な資料を収集・選択・活用して解決に導き、さらに自分達の意見をしっかりと相手に伝えることができる。

(2)評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
調べ学習や発表学習、課題解決学習などの多様な活動を通し、戦国から安土・桃山時代の出来事について、意欲的に学習しようとする態度を身につけている。	ヨーロッパ文化の伝来が日本の社会に及ぼした影響を、キリスト教や鉄砲の伝来、南蛮貿易に注目して、多面的・多角的に考えることができる。	戦国から安土・桃山時代にかけての、動き・対外関係や文化に関する図版・史料・年表・歴史地図などの様々な資料を活用し、追求した結果をまとめたり、説明できる。	織田・豊臣の時期の政治や社会の大きな変化と対外関係のあらまし、武将や豪商などの生活文化の展開を理解し、その知識を身につけている。

(3)単元の指導計画（7時間扱い）

時	学習活動・学習内容	評価規準
1	ヨーロッパ人の世界進出 ・ルネサンスや宗教改革など、14～17世紀のヨーロッパで起きた動きを理解する。 ・ヨーロッパ人が新航路を開いた目的を、ヨーロッパとアジアとの関係から考える。	様々な資料を使い、新航路を開いた目的・人々の苦勞が理解できる。(資料活用・理解) 宗教改革や新航路の開拓が日本の歴史に大きく影響を与えたことを考えられる。(理解)
2	ヨーロッパ人との出会い ・南蛮人が日本にもたらしたもの・その影響について、様々な資料から読み取り、考える。 ・この時代に伝わった鉄砲とキリスト教が、急速に広まった理由を考える。	世界恐慌に関する資料を活用し、分かりやすく説明している。(表現) 当時の日本政府の立場になって、恐慌後の日本がとるべき道を考えることができる。(判断)
3	織田信長による統一事業 ・信長の人物像にせまる。 ・信長の統一事業の過程を経済政策、宗教政策と関連させ	信長による全国統一の過程やその政策のあらましを理解し、その知識を身につけている。

	ながら理解する。	(知識・理解)
4	豊臣秀吉による統一事業 ・豊臣秀吉が全国統一に成功した理由を考える。 ・太閤検地と刀狩によって、それまでとどのような点で異なった社会が生まれたのかを考える。	兵農分離の政策によって社会の枠組みがどのように変化したかを、考えることができる。 (思考・判断)
5 本 時	朝鮮侵略 ・秀吉、戦国大名、李舜臣、朝鮮の人々など、様々な人々の立場に立って、朝鮮侵略を考える。 ・日本と韓国の教科書を比較することで、それぞれの国民の立場で朝鮮侵略を考える。	朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響を理解し、自分の言葉でまとめることができる。(理解・思考・表現)
6 次 時	関ヶ原の戦い ・「天下分け目の関ヶ原」といわれる理由を考える。 ・関ヶ原の戦いが後の世に与えた影響について考え、理解する。	関ヶ原の戦いについて興味をもち、ロールプレイに積極的に参加できる。(関心・意欲) 関ヶ原の戦いの影響について、理解し、発表することができる。 (理解・表現)
7	桃山文化 ・ヨーロッパ人の来航によって、生まれた文化の影響を理解する。 ・桃山文化の特色を様々な写真・資料をもとに考え、その特色が生まれて理由を知る。	桃山文化の特徴を、生活に根ざした文化の広がりや武将・豪商の経済力などの時代背景から考察している。 (思考・判断)

4 本時の学習

(1)本時のねらい

朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響を理解する。

秀吉、戦国大名、李舜臣、朝鮮の人々など、様々な人々の立場に立って、朝鮮侵略を考える。

日本と韓国の教科書を比較することで、それぞれの国民の立場で朝鮮侵略を考える。

(2)展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 評価	資料
導 入	・文禄の役の一場面を生徒2人の劇で表現する。 ・足軽の甲冑に注目し、鎌倉時代とどう違うのか考える。	・生徒に足軽の格好をさせ、当時の臨場感を出させる。本時の学習にスムーズに入っていけるよう、視覚的に訴える。	鎧兜 火縄銃 名護屋城・朝鮮侵略のビデオ(教師作成)
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 『朝鮮侵略を考える！』 ～ 朝鮮侵略のあらましと、その後の日本に与えた影響は？ ～ </div> ・自作ビデオを使い、朝鮮侵略のあらましを理解する。 名護屋城 豊臣秀吉 大名の動き 日本、朝鮮それぞれの武器 ・朝鮮侵略に対する考え・気持ちをそれぞれの立場から主張する。 豊臣秀吉 大名 李舜臣 朝鮮の人々	意欲を持って授業に取り組もうという姿勢があるか。 ・日本全図と北九州の地図を用意し、地名が出るごとに確認していく。	二種類の地図 名護屋

ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ秀吉は朝鮮を侵略したのか、朝鮮での戦いはどんな様子だったのか」という疑問を解決しようとしながら主張を聞く。 ・主張ごとにワークシートにわかったことをまとめる ・朝鮮侵略について、わかったことを発表し、朝鮮侵略の結果を考察する。 <p>予想される結果例 豊臣氏の没落を早めた。 朝鮮から陶工を連れてきて、北九州で焼き物作りが盛んになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶工に関して、唐津を取り上げ、唐津焼の湯飲みを提示する。 ・唐津の地名の説明をする。 <p>・朝鮮侵略の記述に関する、日本と韓国の教科書の比較をする。</p> <p>・比較してわかることは？ 違いは？ など考え、ワークシートにまとめる。</p> <p>(予想例) 韓国の教科書には、豊臣軍の非道な行いが数々書かれている。韓国の教科書には、朝鮮侵略を扱っているページが多い。 など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかったことを発表し、まとめとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主張者に、わかりやすい説明が出来るよう事前指導をしておく。 ・聞き手の生徒は、主張者の目を見て集中して話を聞き、終わった後にワークシートにまとめる。 ・朝鮮侵略の状況を様々な立場から理解し、事実に対する自分の意見が持てるようにする。 <p>主張を聞き、わかったことを自分の言葉でまとめることができたか。 (理解・技能)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に唐津で購入してきたことを話し、興味を持たせる。 ・ハングルで書かれた見出しを紹介し、生徒に読ませる。 <p>日本と韓国のそれぞれの国民の立場で朝鮮侵略を考えることができたか。(思考)</p>	<p>城屏風 手ぬぐい</p> <p>発表原稿</p> <p>ワークシート</p> <p>唐津焼の湯飲み</p> <p>韓国の教科書の写し</p> <p>ワークシート</p>
-------------	--	---	---

5 次時の学習

(1)次時のねらい

「天下分け目の関ヶ原」といわれる理由を考える。

関ヶ原の戦いが後の世に与えた影響について考え、理解する。

様々な武将の立場に立って、関ヶ原の戦いを見ることができる。

(2)展開

	学習活動・学習内容	指導上の留意点 評価	資料
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・関ヶ原の戦いの一場面をビデオでみる。 ・関ヶ原の戦いの概要を整理する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>関ヶ原の戦いを体感しよう！！</p> <p>～ 関ヶ原の戦いの意義とその影響は？ ～</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を持って授業に取り組もうという姿勢があるか。 (関心・意欲) 	<p>N H K ビデオ</p> <p>現在の関ヶ原の自作ビデオ</p>
展	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の関ヶ原について、大名の陣を中心にビデオを 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図を使いながら、ポイン 	

開	<p>使いながら説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ戦うことになったのか」徳川家康（東軍）、石田三成（西軍）のそれぞれの正当性を生徒が主張する。 ・主張をワークシートにまとめる。 ・関ヶ原の戦いの陣形図を見て、感じたことを発表する。（予想）西軍が有利 ・全員、東軍・西軍に分かれ、それぞれの位置につく <p>登場武将 16大名 1大名2～3人</p> <p>東軍 徳川家康 本多忠勝 井伊直政 福島正則 藤堂高虎 池田頼政 西軍 石田光成 宇喜多秀家 小西行長 島津義弘 大谷吉継 西 東 小早川秀秋 脇坂安治 吉川広家 毛利秀元 長曾我部盛親</p>	<p>トをおさえ、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張者に、わかりやすい説明が出来るよう事前指導をしておく。 ・家康、三成の立場に立ち、関ヶ原の戦いに至った経緯を理解させる。 ・一人一人に自分のつく位置を事前に知らせておく。 	<p>掛け地 図 関ヶ原 の陣図 (屏風 など) 家康・三 成の資 料</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の支持のもと、隊を移動する <p>(戦闘例) 9月15日</p> <p>午前8時 東軍の井伊隊が西軍の宇喜多隊に発砲一斉に突撃 10時 家康、本陣を桃配山から陣羽野に移動 11時 光成、小早川と毛利に東軍を攻めるようろしを上げる 12時 家康が小早川の陣に火縄銃を放つ 小早川が西軍を裏切り、大谷隊に突撃 13時 脇坂らも裏切る。大谷、小西、宇喜多隊が次々と壊滅 14時 島津隊、家康の陣を横切り敵中突破をはかる 17時 東軍圧勝。家康、東軍諸将と会見する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各隊は事前に、のぼりとネームプレートを作り、他から見えてわかるようにする。 	<p>のぼり ネーム プレ ート 戦いの 小道具</p>
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・シュミレーションをしてみでの感想を書き、発表する。 ・「天下分け目の関ヶ原」といわれる理由を考え、発表する。 ・関ヶ原の戦い以後どのような変化があったのか、大名に注目して考える。 家康は？ 東軍の大名は？ 西軍の大名は？ 寝返った大名は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・これだけの大事な戦いが短時間で決着したことを気づかせる。 ・関ヶ原の戦いが後の世に与えた影響について考え、理解できたか。(思考・理解) ・家康による大名の取り潰し、配置換えなど、家康に権力が集中したこと。江戸時代の大名支配(親藩・譜代・外様)につながることを理解させる 	<p>ワー クシ ート 関ヶ原 以前と 以後の 大名地 図</p>

<資料の一部>

朝鮮出兵

関ヶ原の戦い



名護屋城跡



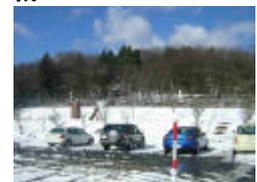
亀甲船



日本の船



関ヶ原激戦地



笹尾山 石田三成本陣